

資産の総合評価シート

施設名	青葉の森スポーツプラザ	施設所管課	スポーツ振興課／公園管理課	評価番号	1-18
-----	-------------	-------	---------------	------	------

I. 資産の総合評価：1巡目の結果（H25～29年度）

評価年度	H26年度			
1 データ評価結果				
評価指標	①建物性能	②利用度	③運営コスト	
対ベンチマーク	○	△	○	
2 総合評価				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用度については、概ね課題はなかった。 			
継続利用	<ul style="list-style-type: none"> 比較的若い世代の利用が多く、長期的には総人口の減少に伴い、利用者も減少する可能性があるが、大会等で利用されることが多く、将来需要は、人口以外の要因による影響が大きいと考えられる。 			
方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本施設については、千葉県所有施設である。 			
⑩当面継続	<ul style="list-style-type: none"> よって、当面継続とし、利用状況を注視していくこととする。 なお、武道館(弓道場)の再整備にあたっては、本施設又は花島公園スポーツ施設での需要吸収の可能性を十分検討すべき。 			

II. 資産の総合評価：2巡目の結果（H30年度以降）

評価年度	H30年度・R元年度							
1 分析結果								
(1) データ評価結果								
評価指標	①建物性能	②利用度	③運営コスト					
対ベンチマーク	—	△	○					
【まとめ】								
<ul style="list-style-type: none"> 利用度（陸上競技場）に課題ありとなった。 (本施設は千葉県の所有する施設であり、本市が管理許可を受けて運営している。) 								
【総合評価実施の主な理由】								
<ul style="list-style-type: none"> 引き続きデータ評価で課題があるため、総合評価を実施する。 								
(2) 現用途の需要見通し								
①利用実績の検証	<ul style="list-style-type: none"> 本施設は、旧千葉寺公園（運動公園）の機能代替地として、本市からの要望により県立青葉の森公園に整備された。 昭和62年4月の供用開始にあわせて、千葉県から都市公園法上の管理許可を受けて本市が管理・運営を行っている。（管理・運営は、スポーツクラブN A S株式会社に委託している。） 本施設は、4つの運動施設（野球場、陸上競技場、庭球場、弓道場）から構成されている。 野球場はスタンドが整備され、硬式野球が可能な数少ない施設であることから、高校野球等で利用されている。 陸上競技場は、市内唯一の日本陸上競技連盟3種公認競技場であり、小・中学校の総合体育大会及び市民総合大会等で利用されている。 							
	<p>1 H29年度の利用状況（別紙：グラフ①及び②参照）</p> <p>(1) 野球場</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数は、21千人（H27年度：19千人 比率：約112%） 利用率は、約75%（H27年度：約74% 比率：+0.8%） H29年度の年代別利用状況は、高校生以下の利用が7割を超えていている。 							

	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県高等学校野球連盟の大会利用の需要がある。 <p>(2) 陸上競技場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、28千人 (H27年度：18千人 比率：約153%) ・利用率は、約29% (H27年度：約26% 比率：+2.7%) ・データ評価で利用度に課題ありとなったものの、利用者数は増加傾向。 ・H29年度は、市レベルの陸上競技大会が開催されるほか、サッカー、グラウンドゴルフ、ゲートボール等の大会で幅広く利用されている。 ・ほぼ毎週土日は陸上やサッカー等の大会が開催されている。専用利用がない場合は陸上競技でのみ個人利用が可能となっており、高校生による利用が6割を占めている。 <p>(3) 庭球場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、52千人 (H27年度：54千人 比率：約97%) ・利用率は、約86% (H27年度：約91% 比率：▲5.2%) ・H29年度の年代別利用状況は、高校生以下の利用が約4分の1。 <p>(4) 弓道場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、4千人 (H27年度：4千人 比率：約105%) ・利用率は、約74% (H27年度：約73% 比率：+0.5%) ・H29年度の年代別利用状況は、一般による利用が9割を占めている。 <p>2 運営コストの状況 (別紙：グラフ③参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の支出は委託料のみ。委託料の約7割は人件費に充当されている。 ・データ評価で運営コストに課題はなかった。
②将来の人口動態などを踏まえた利用状況の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的には、総人口の減少に伴い利用者数は減少すると考えられる。
③将来における効率性の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が減少した場合、施設運営の効率性が低下する。

【まとめ】

- ・データ評価では、陸上競技場の利用度に課題ありとなった。
- ・陸上競技場の利用者数は増加傾向。利用率は低いものの、毎週土日は陸上やサッカー等の大会が開催されている。
- ・野球場、庭球場、弓道場の利用率は高い。

(3) 公共施設再配置

①検討すべき再配置パターン	<ul style="list-style-type: none"> ・類似施設としては、千葉公園（野球場）、蘇我スポーツ公園（庭球場）、武道館（弓道場）、宮崎スポーツ広場（庭球場）が区内に配置されている。
②留意すべき制約条件	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場は、市内唯一の日本陸上競技連盟3種公認競技場であり、小・中学校の総合体育大会及び市民総合大会等で利用されている。 ・本施設の野球場、庭球場、弓道場の利用率は高い。 ・武道館（弓道場）の再整備にあたっては、検討の結果、千葉公園体育館へ集約することになった。

【まとめ】

- ・本施設の利用状況、大会等の利用目的などを踏まえると、直ちに再配置することは難しい。

(4) 資産の立地特性

①重視すべきエリア・資産の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・京成千葉寺駅から徒歩15分。 ・県立青葉の森公園内に設置。 ・市街化区域（第二種中高層住居専用地域）である。 ・本施設は千葉県の所有する施設である。
②公共としての活用ポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県所有施設のため別用途での活用不可。
③外部転用のポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県所有施設のため外部転用不可。

【まとめ】

- ・千葉県所有施設のため、市の独自判断により別用途での活用はできない。

2 総合評価

評価結果	
継続利用	<ul style="list-style-type: none">・データ評価では、陸上競技場の利用度に課題ありとなったものの、利用者数は増加傾向。利用率は低いものの、毎週土日は陸上やサッカー等の大会が開催されている。また、市内唯一の日本陸上競技連盟3種公認競技場である。
方向性	<ul style="list-style-type: none">・野球場、庭球場、弓道場の利用率は高い。・千葉県所有施設のため、市の独自判断により別用途での活用はできない。・以上のことから、当面継続とし、今後の利用状況等を注視していく。
⑩当面継続	

参考 【位置図等】

【平面図】

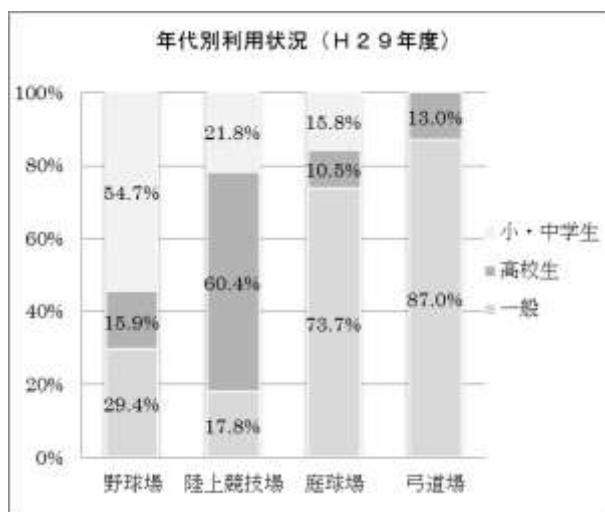


別紙【グラフ・図】

【グラフ①】



【グラフ②】



【グラフ③】

